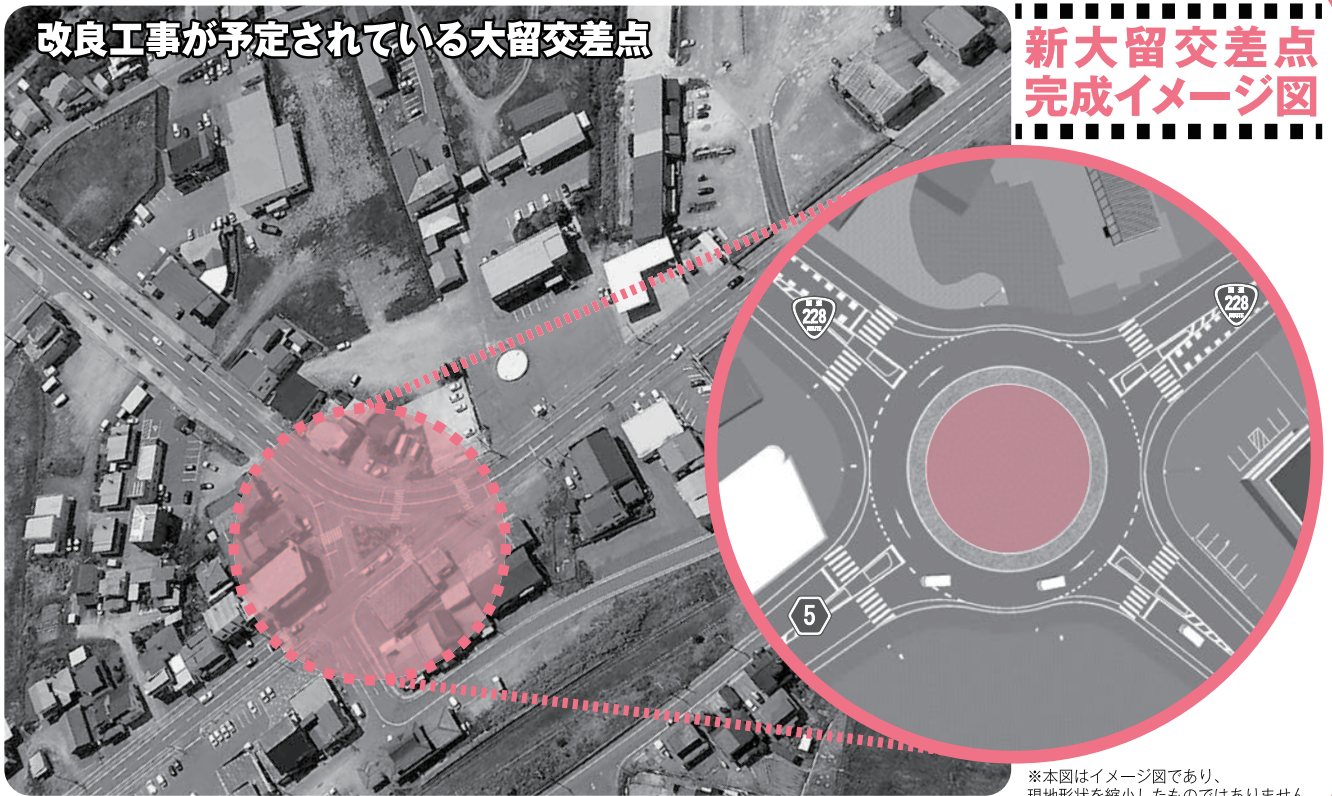


信号のない交差点

大留交差点がラウンドアバウトへ

改良工事が予定されている大留交差点

新大留交差点
完成イメージ図



※本図はイメージ図であり、
現地形状を縮小したものではありません。

ラウンドアバウト(環状交差点)とは

3本以上の道路を円形で接続した『信号のない交差点』です。

円の中心は中央島と呼ばれ、通行できない区域となっており、車輦はこの中央島の周囲を時計回りに通行します。

事故が減る!?ラウンドアバウトの特徴

- ◆直進が出来ないのでスピードが抑えられ、重大事故が起きにくい
- ◆信号待ちが無くなり、交通量の少ない地域では通行が円滑になる
- ◆信号がないため、維持管理のコストが減少する
- ◆災害などで停電しても影響がない

北海道初！生まれ変わる大留交差点

平成29年度に着工を予定している大留交差点の改良工事は、新聞で発表されているとおり、「ラウンドアバウト(環状交差点)」と呼ばれる新しいタイプの交差点が採用されます。

この交差点は、一般的な十字やT字の交差点とは異なるドーナツ型の交差点となり、信号がなくなることで通行がスムーズになるほか、維持コストの低減や、重大事故の防止等に効果があるとされています。

10月25日に大留地区で行われた説明会において、大留交差点は『国道』『道道』『町道』が繋がり、一時停止線前後に2つの車道が合流するなど、複雑で危険な交差点であることが説明されましたが、この改良工事によってこれらの危険性が解消されます。

ここでは、北海道初の導入となるラウンドアバウトの通行方法などについてお知らせしていきます。